

北海道通信

昭和26年11月19日第3種郵便物認可
日刊 祝祭日、日曜日、土曜日 休刊

日刊建設版

平成22年 1月12日 【火曜日】

宮坂建設工業が除排雪

冬場の交通安全に一役

地蔵尊周辺を重機用い丁寧な作業

【帯広発】宮

坂建設工業(株)

(帯広、宮坂寿

文社長)は七

日、帯広市大正

町にある交通安

全地蔵尊周辺の

除排雪作業を

行った。地域貢

献の一環とし

て、十六年から

継続して実施。通行車両が

らも地蔵が見えるように丁

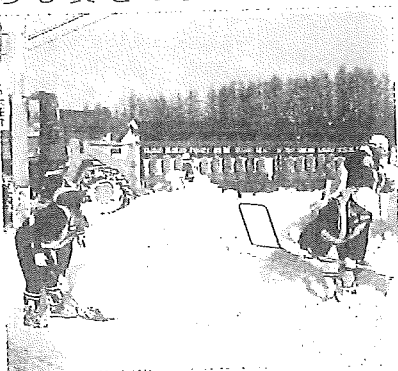
寧な除雪作業を展開した

写真。

同社は十六年に高規格道

路・帯広尾道関連の工事

を施工。その際、道道帯広



音菩薩保存奉賛会に相談し、ボンプティアで周辺の除排雪を実施している。また、地蔵尊が位置する個所は、交差点の角にあることから、視界確保による出会い頭の交通事故防止を図っている。

毎年二月前後に実施しているが、積雪状況に応じて年二回実施しており、ことは積雪が多いためこの時期に実施した。

七回目を迎えた今回は、同社土木部の小笠原豊工事グループ長を含む職員十一人が参加。午前十時から約二時間かけて、タイヤショベル一台、ダンブ三台で地蔵尊周辺の除排雪を行い、通行するドライバーにも地蔵を目視できるように、丁寧な作業を展開した。

空港線を通勤路として利用していたが、冬の時期になると沿道に位置する新西国三十三番観世音菩薩交通安全全地蔵尊が、雪山に隠れて見えなくなってしまうという状況を見え。地元の見世

同社の宇佐美恭広専務は「創始者の『世のため人のために尽くせ』の方針にあるように、地域に恩返しをする意味で実施している」と今回の地域貢献活動の経緯を説明。「ことしは雪が多いので積雪状況を見ながら、春先の大雪にも対応していきたい。地域の方々に喜んでいただき、交通安全への意識向上につながれば」と話している。